

平成 31 年度第 1 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019 年 4 月 25 日 (木)

午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

片瀬市民センター 第 1 談話室

《出席者》

- ・委員 16 人 (現在数 20 人)
欠席 4 人 (甘粕委員, 依藤委員, 岩田委員, 中川委員)
- ・事務局 6 人
- ・地域包括ケアシステム推進室 1 人
- ・藤沢市社会福祉協議会 1 人
- ・コミュニティソーシャルワーカー 1 人
- ・傍聴 2 人

《当日資料一覧》

1. 平成 30 年度第 12 回全体会議事録 (案)
2. 部会議事録
3. 推進会議運営要領 改訂版, 改定案
4. 平成 30 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集 (案)
5. かながわプラごみゼロ宣言
6. 職員名簿

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 平成 30 年度第 1 回全体会 (3/19) について
事務局から説明し, 確認した。
- (2) 各部会報告
部会議事録をもとに報告した。生活環境協議会 (村越委員) から, クリーン活動実施報告, 及び, マイクロプラスチック対策の重要性や子ども会の児童による収集の結果について, 報告があった。マイクロプラスチック問題に対する周知啓発は引き続き取り組んでいくとのこと。

4. 議題

- (1) 「片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領」の改正について

- ・全体会，役員会での議論結果をもとに修正案を提示し，改正について承認された。
- ・意見→協議会の名称が「片瀬地区郷土づくり推進会議」「片瀬・江の島まちづくり協議会」とが混在しているような印象を受ける。協議会と接点を持って初めて「まちづくり協議会」が通称であることは理解できるが，統一するほうが地域の方々には伝わるのでは。
 回答→「郷土づくり推進会議」の前身の会議体時代から「まちづくり協議会」の名称を片瀬地区では使い続けていること，略称としての「まち協」が地域には定着している。

(2) 平成 30 年度活動報告集について

- ・報告集全体が完成したため，委員に提示した。次回全体会までに，意見等を受け付ける。
- ・質問→報告集はどういったことに使われるか。
 回答→他地域に送付したり，年度当初の地区集会等で，協議会の取り組みを紹介するために使用される。

(3) その他

- ・まちづくり協議会における，マイクロプラスチックの取り扱いについて 4 月役員会での議論結果について，事務局からの説明を求められたので，説明した。
 →3 月全体会にて，環境総務課から藤沢市によるマイクロプラスチック対策については，「プラスチックごみを適切に処理する」，「マイクロプラスチックに対する知識の啓発」が中心になることの説明を受けて，「地域住民への啓発」が地区内では必要となると役員会で判断された。
 →生活環境協議会が上述のように事業を通じてマイクロプラスチック対策の重要性について取り組んでいること，また，同総会において「かながわプラごみゼロ宣言」を環境部長に，そして自治町内会連絡協議会定例会においても配布する予定であり，地域住民への周知啓発を推進することを説明した。
 →まちづくり協議会では，生活環境協議会の取り組みを注視することに同意した。

5. その他

第 2 回役員会 5 月 16 日（木）午後 6 時 30 分から 市民センター第 2 談話室

第 2 回全体会 5 月 23 日（木）午後 2 時 30 分から 市民センター第 1 談話室

※終了後懇親会

6. 閉会

以 上

平成 31 年度第 2 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019 年 5 月 23 日 (木)

午後 2 時 30 分から午後 4 時まで
片瀬市民センター 第 1 談話室

《出席者》

- ・委員 11 人 (現在数 20 人)
欠席 9 人 (川嶋委員, 浜野委員, 大館委員, 高木委員, 依藤委員, 岩田委員, 中川委員, 高野委員, 永由委員)
- ・事務局 7 人
- ・傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 平成 31 年度第 1 回全体会議事録 (案)・市政報告会実施記録
2. 部会議事録
3. 回覧チラシ (4/10, 4/25, 5/10)
4. 推進会議運営要領 改訂版
5. 平成 30 年度・31 年度協議会活動スケジュール
6. ボランティア事業提案大募集! チラシ
7. 第 1 回地区集会「テーマ」等について

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 第 1 回全体会および市政報告会について

- ・議事録の確認を行った。見出しに誤記載があった。《3. 報告》(1) 平成 30 年度第 1 回全体会 (3/19) について》と、全体会の回数に誤りがあったので、《3. 報告》(1) 平成 30 年度第 12 回全体会 (3/19) について》と修正する。

(2) 「片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領」の改正について

- ・本日をもって確定, 4 月 1 日施行とする。なお, 第 4 条 (1) について, 条文が追加されたことに伴い, 条文中に「第 12 条」とあるものは「第 13 条」に改める。修正版はポータルサイトに掲載される。

(3) 平成 30 年度活動報告集について

- ・本日をもって確定とする。なお, 報告書中の運営要領は旧バージョンのものを掲載する。報告書はポータルサイトに掲載されるとともに, 各センターに送付, 地区集会等で配布される。

(4) 各部会報告

- ・JJBC の講演会については, 今後も検討を続けて企画を詰めていく。
- ・青少年健全育成部会と公民館活用部会については, 6 月全体会までに, 「しおさいセンター」

れあいルームの夜間開放」をテーマに合同部会を開催する。

- ・単独の青少年健全育成部会は6月17日または19日に開催する予定である。

(5) その他

- ・東京2020大会に関連して、ボランティア事業提案募集が6月に行われることについて事務局からチラシを資料に説明した。
- ・青少協から、デーキャンプについてボランティアを募集していることについて報告された。また、7月11日に潮の子フォーラムが開催されることが報告された。

4. 議題

(1) 地区集会（講演会）について

①実施及び回数について

②「テーマ」について…各部会でテーマおよび企画を考える

上記について検討を行うとともに、テーマ出しを行った。

- ・役員会としては、明確に方針を打ち出しているわけではないが、講演会だけでなく、地区集会を実施するほうが良いのでは、というように話が進んでいる。
- ・開催時期について、9月か11月が想定される。もし9月に行う場合は6月にはテーマが決まっていないと進めるのは難しい。11月の場合は、今年度末に行われる公募委員の募集に向けたPRの機会を兼ねることができる。→大勢ではやや11月開催に委員の考えが寄っているか。
- ・6月役員会の検討材料とするため、6月4日を締め切りに、委員全員にテーマを募集することとした。

《テーマ》の検討

- ・「オリンピック」→上述のボランティア提案募集の実施を受けて、グループトーク形式のアイデア出し
- ・「水道学習講座（県水道局）」→100トン水槽等、水道の、特に防災に関する学習講座を県が出張して行ってもらえる。→自主防、自治会向けに有用に思われる。
- ・「片瀬山幼稚園跡地の地域全体向けワークショップ」→2年前に行われた地区集会で取り扱ったこともあり、その後の進捗や、当初から開催される予定であったワークショップを地区集会として開催してはどうか。→検討委員会内での意見集約を行っている段階であり、現段階では難しいか。時機を見る必要がある。
- ・「片瀬江ノ島駅前広場」→たびたび市の担当課に説明を受けた経緯もあるので。→事実上白紙撤回されているので、新しい題材の提供が難しいか。

5. その他

- 第3回役員会 6月6日（木）午後6時30分から 市民センター第2談話室
- 第3回全体会 6月20日（木）午後6時30分から 市民センター第1談話室

6. 閉会

以上

平成 31 年度第 3 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019 年 6 月 20 日（木）

午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
片瀬市民センター 第 1 談話室

《出席者》

- ・委員 10 人（現在数 20 人）
欠席 10 人（川嶋委員，浜野委員，森田委員，吉見委員，村越委員，依藤委員，岩田委員，中川委員，高野委員，笹岡委員）
- ・事務局 6 人
- ・傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 平成 31 年度第 2 回全体会議事録（案）
2. 部会議事録
3. 回覧チラシ（5/25，6/10）
4. 2019 年度ロボット共生社会推進事業（江の島プロジェクト）について
5. 平成 31 年度（令和元年度）第 1 回地区集会について
6. 平成 31 年度第 1 回地区集会「テーマ」集計表
7. 水道学習講座のご案内

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 各部会からの報告

- ・議事録の確認を行った。第 2 回全体会の議事録確認も併せて行った。
〈郷土文化推進部会〉に関連して，福石の隣に「杉山検校」の像を立てる話が江島神社に対して出ている。また，江の島入口の青銅の鳥居に錆が出ており，江島神社が錆取りを行う予定である。

(2) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・社協，ボラセンから，『気軽に「エンディングノート」』『家族を介護している人のつどい』『めざせ元気シニア』『令和元年度敬老事業について』『にこにこ広場』について報告と告知が行われた。
- ・片子連から，『わくわく子ども天国』の告知が行われた。
- ・支援フォーラムから，『夏休み体験教室』の告知が行われた。

(3) その他

- ・事務局から，江の島プロジェクト「バスの自動運転」に関しての説明を行った。

4. 議題

(1) 平成 31 年度 第 1 回地区集会について

①役員会（報告）

②本年度第 1 回の開催について

- ・各委員から挙げられた地区集会の企画案について、役員会で議論を行った結果について報告した。
- ・役員会としては、
 - 実施の有無について…実施する
 - 「テーマ」について…（仮）“オリンピックを盛り上げる” その後の“片瀬地区のまちを考える”
 - 「開催方法」について…グループトークと発表
 - 「開催時期」について…11 月下旬（詳細は要調整）
 - 参加者および声掛け対象等…一般参加だが、各団体への動員を実施する。ガイドクラブにもグループトークに参加してもらう。
として、地区集会の原案を作成した。
- ・以下、委員間で原案をもとに議論を行った。
 - ガイドクラブの役割は、一参加者として、“片瀬地区のまちを考える”に参加してもらう。
 - “オリンピックを盛り上げる”ではオリパラ職員にも参加してもらいたい。
 - グループトークにあたり、委員がコーディネーターを務め、議論のファシリテーションとコントロールを行う。
 - グループトークの前段にオリパラ準備室職員にとる現状解説がほしい。
 - “オリンピックによる環境変化”と“オリンピック後のこれから”が主たる議題となる。
 - 日常生活において、情報が入らない人たちに向けて、わからないこと・不満なことを解決する地区集会としたい。→その場で解決できなければ、JJBC の掲示板で報告するという形でもよいか。
 - 「片瀬として盛り上げる地区集会にしたい」
 - 盛り上げるのはまち協の役割なのか。そんなに地域住民から、オリンピックに対しての熱量を感じられない。前述に関して、日常生活において、何かが変わることがそんなに重要なことだろうか。
 - 島内において、オリンピックに強い関心があるわけではない（商売への影響が気になる）。
 - 今までの議論を見ていると不安事に関する内容が多い。不安事に関するグループトークにしてしまうと、質疑応答に終始すると思う。これからの「片瀬・江の島」をどうしたいか考える地区集会にしてはどうか。
 - 上述のような暗いイメージではなく、明るいビジョンを持てるような地区集会にしたい。
 - レガシーとして何が残せるか
 - 住んでいる人の前向きな気持ちが知りたい。
 - ヨットハウスを地区集会の会場にしてはどうか。
- ・結論として、「オリンピックを盛り上げる」「オリンピック後の片瀬・江の島を考える」を 2 大テーマとして、地区集会を行うこととした。次回役員会から詳細を詰めていく。

(2) その他

- ・特記事項なし

5. その他

第4回役員会 7月 4日(木) 午後6時30分から 市民センター第2談話室

第4回全体会 7月25日(木) 午後6時30分から 市民センター第1談話室

6. 閉会

以上

令和元年度第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2019年7月25日(木)

午後6時30分から午後8時45分まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人(現在数20人)
欠席7人(川嶋委員, 浜野委員, 大館委員, 依藤委員,
岩田委員, 中川委員, 高野委員)
- ・(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
太田VGM, 齋田, 三橋, 宮下, 鎌田
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
山原, 広岡
- ・事務局 7人
- ・傍聴 0人

《当日資料一覧》

1. 平成31年度第3回全体会議事録(案)
2. 部会議事録
3. 回覧チラシ(6/25, 7/10)
4. 東京2020大会 セーリング競技について
5. セーリング関連イベントチラシ3点(1年前記念イベント in 藤沢, セーリングワールドカップシリーズ江の島大会, ウェルカムフェスティバル)
6. 第1回まちづくり地区集会企画書(たたき台)
7. まちづくり通信第36号原稿
8. まちづくり通信第36号企画書

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 東京2020大会セーリング競技について(大会組織委員会より)

- ・組織委員会から東京2020大会の概要, セーリング競技の概要について説明を受けた。質疑応答は以下の通り。Q:委員, A:大会組織委員会
- Q:観客席からレースは見ることができるか
A:C1, C4からは少し見えるが, 見えないエリアもある。大型ビジョンなどを設置して対応する予定。
- Q:メダル(決勝)レースのゴールは島の近くか
A:C1, C4あたりを使用する予定。
- Q:どの観客席が一番見やすいか

A：全席立見，灯台のあたりが一番良い。

Q：今年のテストイベントでは，一般の人も自由に入れるのか

A：フェンスで囲うことはないが，一部規制する部分がある。

Q：来年の本大会の時には，一般の人はどこまで入れるのか

A：図面にある白い線のところまでを想定している。

Q：磯場（表磯）に入れなくなってしまうと，釣り客や釣具屋の経営に影響が出てくる。

A：確認する。

・ほか，大会に伴う情報として，以下の通り説明があった。

→江の島大橋・スバナ通り・小田急片瀬江ノ島駅前については，住民の生活を守るために，ある程度の交通コントロール（規制）をしていくことを検討中。8/1(木)に開催される，神奈川県「輸送調整会議」で公表される。具体的には今後だが，住民の車両などを事前に調査したうえで，出入りのコントロールをしていく形になると思われる。

→会場となる江の島ヨットハーバー以外であっても，県が「片瀬東浜海岸」，市が「市役所本庁舎」において「ライブサイト」を実施し，競技観戦の場を提供する予定。ただし，現段階ではどんな競技が放映されるかは未定。

4. 報告

(1) 各部会からの報告

・議事録の確認を行った。第3回全体会の議事録確認も併せて行った。

オリパラワーキングについて，「セーリング W 杯会場を歩いて見よう！」への委員の参加を呼び掛けた。

(2) 各地域団体等からの報告（トピック）

・社協から，社協だより「しあわせ」の発行と「呼子笛のプレゼント」の実施について報告された。

・青少協から，「デーキャンプ」の実施報告，「夏季海岸夜間パトロール」の実施，「潮の子フォーラム」の実施報告が行われた。

・甘粕委員から8月3，4日（土，日）に「龍の口竹灯籠」が開催されることが報告された。

(3) その他

5. 議題

(1) 令和元年度 第1回地区集会について

①日時・会場等について（報告）

②テーマについて（確認）

③講師について

④当日の手法について（再確認）

⑤今後の日程について

●検討内容は下記の通り

・日時：2019年11月16日午後2時～4時（準備・片付け含めて午後12時30分～午後5時）で確定した。

・会場：江の島ヨットハウス大会運営室

- 「ハード面」に関しては地区集会のグループトーク内では取り扱わない。前段の「最新情報」の質疑応答の段階で解消させるようにする。
- ポジティブな（未来志向の）グループトークにする。
- 2大テーマについては他にもテーマを加えるか、等の議論もあったが、当初の通り、「オリンピックを盛り上げる」「オリンピック後の片瀬・江の島を考える」にすることとした。言い回しはチラシ作成過程で検討する。
- トークは「自分が地域のためにできることは何か」を基本線として、話し合ってもらおう。
- コーディネーター用の話の引き出し（ネタ）を用意しておく必要がある（青少年、プラごみ、防災等）。役員会で検討する。
- オリパラ、組織委員会もグループトークに入れるか、については、トークの内容がハード面に偏る可能性があるため、外周待機してもらうことにする。
- まち協の紹介は行わないこととする。
- 参加賞は用意する。

(2) まちづくり通信の発行について

- 事務局でレイアウト変更、記事の修正を行った原稿を提示した。各団体の選出委員は次回全体会までに内容確認を行う。

(3) その他

- 特記事項なし

6. その他

第5回役員会 8月 8日（木）午後6時30分から 市民センター第2談話室

第5回全体会 8月22日（木）午後6時30分から 市民センター第1談話室

7. 閉会

以 上

令和元年度第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2019年8月22日(木)

午後6時30分から午後8時30分まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 11人(現在数20人)
欠席9人(川嶋委員, 浜野委員, 森田委員, 吉見委員, 大館委員,
高木委員, 岩田委員, 中川委員, 高野委員)
- ・江の島地区周辺整備担当 飯田, 山原
- ・道路河川総務課 青柳, 久保, 吉田, 竹下
- ・事務局 7人
- ・傍聴 2人

《当日資料一覧》

1. 部会議事録
2. 令和元年度第4回全体会議事録(案)
3. 回覧チラシ(7/25, 8/10)
4. 片瀬江ノ島駅周辺における駐輪施設の整備について(道路河川総務課資料)
5. 片瀬江ノ島駅前広場の整備について(江の島地区周辺整備担当資料)
6. 第1回まちづくり地区集会企画書(8月全体会時用)
7. まちづくり通信第36号原稿
8. 江の島を自動運転バスが走ります!
9. まちづくり通信第36号企画書

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 藤沢市より

(江の島地区周辺整備担当)

東京2020大会に向けた整備として, ①駅前の旧駐輪場前をロータリーとして整備するとともに, 300台分の駐輪場を整備する, ②鵜沼海岸10号踏切の道路とのすれを解消する工事を行う(小田急による夜間施工), ことについて説明がなされた。質疑は以下の通り。

Q: 委員, A: 江の島地区周辺整備担当

Q: ロータリーは何台停車できるか。

A: 小さい形状なので最低限の1台, 一時利用目的として作るため, ロータリー内は停車している車の脇をすり抜けられるように作る。

Q: 踏切の工事について, 踏切内ですれ違いができるような幅員が取れるか。

A: 取れるように整備する。

(道路河川総務課)

片瀬江ノ島駅前周辺に有料駐輪場を整備し、駅周辺に放置禁止区域を設置することについて説明を行った。質疑は以下の通り。Q：委員，A：道路河川総務課職員

Q：①放置自転車が駅周辺に30台以上あるとのことだが、どこにあるか。②有料化する理由について教えてほしい。③有料化すると放置自転車が増えるのでは。

A：①駅前広場のKUA' AINA前及び広場から一段下がった川沿いに放置自転車が多い。②使いやすい駐輪場にするための整備を行うことから、受益者負担の観点から。③放置禁止区域を設置することにより、放置自転車の発生を抑えるものである。

Q：駐輪場の整備工事中、実数よりも駐車台数が増えるのでは。

A：利用者アンケートによれば、利用者数は減る見込みである。

Q：受益者負担とする根拠は。

A：①税金を使って整備するものなので、公平性の観点から。②無料駐輪場であることによる、利用者マナーの問題。③既に有料駐輪場が8割となっている。④片瀬にはないが、民間の有料駐輪場とのバランスを取る。

Q：禁止区域の指定はいつから。

A：議会の承認を経てから、4月もしくは6月と考えている。

Q：モノレール湘南江の島駅の周辺はどうか。

A：モノレールに要望を伝える。

意見：①駐輪場が減るとロータリーを利用する車が増えるのでは。②有料駐輪場は設備投資、人件費についてペイできるものではないのでは。③今回の駐輪場整備は観光公害対策とはなっていないのでは。④民間有料駐輪場は片瀬にはないので、受益者負担の理由としては弱いのではないか。

Q：定期利用はあるか。

A：検討中である。

4. 報告

(1) 各部会からの報告

①オリ・パラワーキング

8月29日(木)に片瀬地区内の小学生を対象にした「セーリングW杯会場を歩いて見よう！」を実施することが澁谷晴子座長から報告された。畠山会長、三鶯委員が出席することを表明した。

②郷土文化推進部会

(2) 各地域団体等からの報告(トピック)

- ・社協から、福祉バザー(ふれあいまつり)での出品物募集、家族介護のつどい開催、敬老会の開催について報告があった。
- ・ボランティアセンターから、ミニ講座として「特殊詐欺事情」の開催について報告があった。
- ・青少協から、夏期夜間海岸パトロールが終了したことについて報告があった。

(3) 全体会および役員会の日程変更(決定)について

日程を以下の通り変更することについて確認した。

①（全体会）

10月17日（木）→10月15日（火）※夜間防災訓練

11月21日（木）→11月14日（木）※地域間交流会のため

②（役員会）

11月7日（木）→（変更なし）

(4) その他

特記事項なし

5. 議題

(1) 令和元年度 第1回地区集会について

- ・企画案の内容について確認を行った。
- ・グループトークのコーディネーターについて、秋岡委員から甘粕委員に交代する。
- ・グループトークの内容について、班ごとに決めるかすべて同じテーマとするか
→コーディネーターで集まって調整する
- ・オリパラ（組織委員会含む）に対応を依頼したいこととして、①2部の質問タイムについて、オリパラの職員は残っていることができるか、②残れるのであればトークの最後に総評をもらえるか、③オブザーバーとしてトークに加わることができるか。
※③については1部の続きになりうる懸念があることも意見として挙げられている。

(2) まちづくり通信の発行について

- ・全体会前に片子連で差し替えがあったので、修正後の原稿を提示した。

(3) その他

- ・自動運転バスの運行について、セーリングW杯中に行われることが報告された。

6. その他

第6回役員会 9月5日（木）午後6時30分から 市民センター第2談話室

第6回全体会 9月26日（木）午後6時30分から 市民センター第1談話室

7. 閉会

以上

令和元年度第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

2019年9月26日（木）

午後6時30分から午後9時15分まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 13人（現在数20人）
欠席7人（浜野委員，村越委員，依藤委員，岩田委員，
中川委員，高野委員，笹岡委員）
- ・地域包括ケアシステム推進室 玉井，小鈴
- ・事務局 7人

《当日資料一覧》

1. 部会議事録
2. 令和元年度第5回全体会議事録（案）
3. 回覧チラシ（8/20，9/5）
4. 藤沢おれんじプラン冊子，おれんじキャンペーンふじさわ2019チラシ，地域さんかく塾申し込みチラシ（地域包括ケアシステム推進室資料）
5. 第1回まちづくり地区集会企画書（9月全体会時用）
6. 地区集会会場レイアウト
7. 地区集会参加者アンケート
8. 地区集会チラシ
9. 第42回片瀬地区ふれあいまつり
10. 黒岩知事との“対話の広場”チラシ

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 藤沢市より（地域包括ケアシステム推進室）

「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」として，ふじさわオレンジプランの説明がなされた。

- ・ALL ふじさわでの目標→①知る，②集う，③支える
- ・地域住民，地域団体等，医療介護・福祉関係機関，民間企業，行政→それぞれが認知症に対して役割を持っている。
- ・地域の中でどのように認知症者を支えていくか（地域共生型社会）

《質疑応答》

Q：認知症の診断方法は。

A：MRI や認知機能検査を踏まえて医師が診断する。

Q：介護認定については。

A：医師が作成する意見書，認定調査（本人・家族）を受けて審査会で判定する。

Q：認知症は症状が進行すると戻らないか。

A：進行を遅らせることはできる。

Q：認知症疑いの人（特に独居の方）のことをどのように相談機関につなげるのか。特にプライバシーにかかわることを本人の承知なしに伝えていいものか。

A：地域包括支援センターは対応のノウハウを持っているので，まず相談してほしい。

Q：認知症の人と，地域はどのように対応したらよいか。

A：行政にできることは限られている。皆さんには緩やかな見守りや気になることを地域包括支援センターに相談することをお願いしたい。

Q：おれんじプランのことはまち協に入っているからわかる情報。一般の方はどのように，例えば行政の相談窓口など，知ることができるだろうか。

A：一般の方には，まず認知症のことを知ってほしい。近所の関係性が第一になる。

推進室から）認知症に関する話題は，一回では議論が尽くせないと考える。機会があれば，また地域包括ケアシステム推進室職員が説明に伺います。今後ともよろしくお願いたします。

4. 報告

(1) 各部会からの報告

- ①JJBC
- ②オリ・パラワーキング
- ③ボランティアセンター運営委員会
- ④郷土文化推進部会

→議事録の開催日に誤りがあったので修正する。

(2) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・社協から，地域回覧チラシをもとにCSWの相談案内紹介と，生活支援ボランティアの紹介がなされた。
- ・自転車の自賠責義務化は特別な新しい保険に入る必要があるか，という質問があり，既に他の保険に入っている中で特約等で補償されている場合がある。条例に対する罰則はないが，損害賠償責任が生じると自己負担になる（子ども会では独自に自転車保険に入っている）。

(3) 全体会および役員会の日程変更（決定）について

日程を以下の通り変更することについて確認した。

①（全体会）

10月17日（木）→10月15日（火）※夜間防災訓練

11月21日（木）→11月14日（木）※地域間交流会のため

②（役員会）

11月7日（木）→11月5日（火）※市自治連会議のため

(4) その他

特記事項なし

5. 議題

(1) 令和元年度 第1回地区集会について

審議内容については以下の通り。

- ・チラシについては確定となった。修正点：表面に「できるだけ公共交通機関をご利用ください」という趣旨の文言を入れる。裏面に記載されていた「掲載されている時刻のバスに…」という表記を削除する。
- ・参加者は片瀬在住の住民に限定する。
- ・コーディネーターの打ち合わせはどのように行うか→10月15日の全体会終了後に実施する。
- ・コーディネーターは進行で手一杯になる可能性があるため、他の委員が書記になる必要があるかを検討する（企画案上では必要に応じて、としている）。
- ・トークの方法はブレインストーミング的なものか、グループで議論を行い、方向性をまとめるものか、検討する必要がある。また、KJ法で進行するか、も検討する。
…上記2点については、次回役員会で進行方法を検討する際に、検討する。
- ・トークテーマ案は役員会でまとめる。地区集会ではトークテーマ案をあらかじめ提示し、トークを進める。ただしテーマ外のトーク内容であっても併せて発表する。

(2) 公民館まつりについて

- ・ふれあいまつりのプログラムが完成したので、事務局から今回の特色について説明した。

(3) その他

- ・黒岩知事との対話について事務局から紹介した。

6. その他

第7回役員会 10月 3日（木）午後6時30分から 市民センター第2談話室

第7回全体会 10月15日（火）午後6時30分から 市民センター第1談話室

7. 閉会

以上

令和元年度第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019年10月15日(火)

午後6時30分から午後8時まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 14人(現在数20人)
欠席6人(浜野委員, 村越委員, 依藤委員, 岩田委員, 中川委員, 永由委員)
- ・事務局 5人

《当日資料一覧》

1. 回覧チラシ(9/20, 10/4)
2. 第1回まちづくり地区集会企画書(10月全体会時用)
3. 地区集会進行表・会場レイアウト
4. 地区集会参加者アンケート
5. 地区集会チラシ
6. 商店街に対する市民の意識調査アンケート

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 各部会からの報告

→前回全体会との間に部会が開催され無かったので, 報告なし。

(2) 各地域団体等からの報告(トピック)

- ・社協から, 地域回覧チラシをもとにふれあいまつりでの福祉バザー開催, 赤い羽根共同募金のお礼, 「家族を介護している人のつどい」の開催が案内された。
- ・青少協から, 球技大会の開催が案内された。
- ・スポーツの会から, 地区レクリエーション大会の開催が案内された。

(3) その他

4. 議題

(1) 令和元年度 第1回地区集会について

審議内容については以下の通り。

- ・まち協の委員から, グループトーク中にコーディネーターのサポート役(サポーター)を選出した。トーク中にあたり, コーディネーターが困っているときにフォローを行ったり, グループ内で発言が出ないときに発言を行う役割を持つ。

…村越委員，大館委員，高木委員，森田委員，畠山委員，吉見委員

- マイク係，写真係は事務局が担う。
- 受付は村越委員と大館委員
- コーディネーターとサポーターの組み合わせは役員会で決める。
- 1テーブル合計8人となる。
- 来週あたりから，地域団体に出席の働きかけ，ビッグウェーブや都市ボランティアに告知を行う。委員も知己への声掛けを行う。
- グループトーク内の「意見・質問」の時間の取り扱いについて，グループトークという性質上，「意見交換」という名称にする。
- グループトークで使われる模造紙の利用イメージ（各グループ共通）

①選手の応援	②聖火リレー
③地域アピール	④その他

- アイデア出しの形で，どんどん参加者から意見を挙げてもらう（結論は出さない）。
- アイデアをオリパラワーキングや役員会で仕分けして，必要と思われるものについては，働きかけや申し入れを行う。

以上。当初全体会終了後に予定されていたコーディネーターによる打ち合わせは行わないこととなった。

5. その他

第8回役員会 11月 5日（火）午後6時30分から 市民センター第2談話室

第8回全体会 11月14日（木）午後6時30分から 市民センター第1談話室

第1回地区集会 11月16日（土）午後12時30分集合 江の島ヨットハウス

6. 閉会

以上

令和元年度第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019年11月14日（木）

午後6時30分から午後8時15分まで
片瀬市民センター 第1談話室

《出席者》

- ・委員 14人（現在数20人）
欠席6人（浜野委員，依藤委員，秋岡委員，岩田委員，中川委員，永由委員）
- ・事務局 7人
- ・傍聴 1人（コミュニティソーシャルワーカー）

《当日資料一覧》

1. 回覧チラシ（10/18，11/5）
2. 部会議事録
3. 第1回まちづくり地区集会会場レイアウト・進行表
3. 地区集会司会進行文
4. 地区集会次第
5. JJBC ボランティア講演会チラシ

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 各部会からの報告

- ・部会議事録をもとに報告を行った。JJBCに関しては，ボランティア講演会が開催されることについても，川嶋委員から説明があった。

(2) 各地域団体等からの報告（トピック）

- ・社協から，生活支援ボランティアの集会（11/16），共同募金配布のお知らせ，映画ケアンソニ上映会の案内があった。
- ・ボランティアセンターから，ひだまり片瀬が発行されたことの報告があった。にこにこ広場で子育て応援メッセが開催されたことが報告された。
- ・自主防災協議会から，総合防災訓練（12/7）開催の案内があった。
- ・生活環境協議会から，一日清掃デー（11/17）開催の案内があった。
- ・こどもらんどから，子どもの工作事業（12/1）開催の案内があった。
- ・児童クラブにて，子どもまつり（11/10）に開催されたことが報告された。児童クラブについても，地域との連携が必要と思う（三觜委員から）。

(3) その他

- ・西浜橋の欄干が台風 19 号の影響で倒れているが、鉄製のものが錆びている橋が他にもある（弁天橋）ので、地域からも少しでも早く対策工事を行ってほしいことを働きかけてほしい。

4. 議題

(1) 令和元年度 第 1 回地区集会について

審議内容については以下の通り。

- ・組織委員会が使用するスライドは配布なし。
- ・事務局と組織委員会の事前調整の結果については以下の通り
 - …オリンピックを迎えるにあたり、シティラッピングの本格化を地域ともどもおこなっていく。
 - …選手の応援について、個別の機会を設けるのはできないが、公的に開催される壮行会の際にメッセージを寄せるといったことはできるのでは。
 - …地区集会のビッグウェーブへの掲載について、LINE のメッセージではなく、タイムラインに投稿された。
- ・第 2 部の進行について
 - …現在参加者 18 名のため、4 グループで開催予定
 - …役員会で検討したコーディネーターと補佐役の組み合わせを確認した（1～4 グループのメンバーは必須）。
 - …参加者の班分けは事前に行う。当日欠席者がいれば委員が補填する。
- ・当日の全体の進行について
 - …前回の東京五輪に関する資料（澁谷宏美委員作成）を配布する。
 - …発表は各グループのテーブルで行う。
 - …グループトークと発表の間に、参加者がグループ間を行き来して、自由に他グループの模造紙を見て意見交換できる時間を作る（発表時間を少し減らす）。
- ・トークで出た意見は内容によって、オリパラワーキング・組織委員会・オリパラ準備室で検討できるか取り扱いを考える。
- ・J.COM が地区集会当日の様子を取材する。会長インタビュー、会場の様子撮影あり。

(2) 令和元年度 第 2 回地区集会について

- ・実施概要について確認した。次回役員会で詳細を詰めていく。

5. その他

第 1 回地区集会 11 月 16 日（土）午後 12 時 30 分集合 江の島ヨットハウス

第 9 回役員会 12 月 5 日（木）午後 6 時 30 分から 市民センター第 2 談話室

第 9 回全体会 12 月 19 日（木）午後 2 時 30 分から 市民センター第 1 談話室

6. 閉会

以 上

令和元年度第9回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2019年12月19日(木)

午後2時30分から午後4時30分まで
片瀬市民センター 第2談話室

《出席者》

- ・委員 14人(現在数20人)
欠席6人(浜野委員, 依藤委員, 秋岡委員, 岩田委員, 中川委員, 永由委員)
- ・事務局 7人
- ・傍聴 1人(コミュニティソーシャルワーカー)

《当日資料一覧》

1. 回覧チラシ(11/20, 12/5)
2. 第1回まちづくり地区集会開催結果概要・アンケート集計結果
3. 部会報告書
4. 第2回地区集会実施企画
5. 第2回地区集会チラシ
6. まちづくり通信第37号
7. 「郷土づくり推進会議」の運用の手引き(案)
8. 令和2年度片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員募集及び選考要領
9. 片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員応募用紙
10. 片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員選考基準採点票

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 令和元年度 第1回地区集会について

- ・開催結果概要・アンケート集計結果をもとに報告を行った。委員からは、グループトークについて初めの5分くらいで意見が出尽くした感があったが、参加者からはオリンピックを楽しもうとする姿勢が感じられた、といった感想が挙げられた。

(2) 各部会からの報告

- ・部会議事録をもとに報告を行った。

(3) 各地域団体等からの報告(トピック)

- ・特記事項なし

(3) その他

- ・特記事項なし

4. 議題

(1) 令和元年度 第2回地区集会について

- ・実施企画をもとに検討を行った。
 - 開催日は2月26日(水)で確定
 - 内容は「今期(2年間)の活動報告」「片瀬地区新コミュニティ施設」について
 - 新コミュニティ施設に関する説明は誰が行うかについて
 - 検討会議でなされた話し合いの内容・提言書の内容の報告…検討委員から
 - 検討会議を設置するまでの経過…市民自治推進課から
 - 上記のような割り振りが考えられるが、現時点では調整中であり、検討会議で検討することになる。
 - 地区集会で意見が出た場合の対応については、明確に決まっていない。検討会議で検討する。
- ・2年間の活動報告については、実施した地区集会のことについても報告する。
- ・まちづくり通信(No.37)の検討
 - ・紙面について検討を行った。4面のオリンピックまでのカウントダウンについて、オリンピックの開催期間及びセーリング競技の開催期間についても掲載することとし、印刷する(1/10発行)。

(2) 令和2年度 まち協委員改選について

- ・今年度末に委員改選が行われることを確認した。

(3) 令和2年度 現各部会(ワーク含む)の継続等について

- ・年度末を迎えるにあたり、各部会とも次年度以降の計画・方針等について検討していくことを確認した。

(4) その他

5. その他

第10回役員会 1月9日(木)午後6時30分から 市民センター第2談話室

第10回全体会 1月23日(木)午後6時30分から 市民センター第1談話室

6. 閉会

以上

令和元年度第 10 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020 年 1 月 23 日 (木)

午後 6 時 30 分から午後 8 時まで
片瀬市民センター 第 1 談話室

《出席者》

- ・委員 13 人 (現在数 20 人)
欠席 7 人 (川嶋委員, 浜野委員, 吉見委員, 依藤委員,
秋岡委員, 岩田委員, 中川委員)
- ・事務局 8 人
- ・傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 回覧チラシ (12/20, 1/6, 1/20)
2. 部会報告書 (JJBC, オリパラワーキング, 青少年健全育成部会, 子ども関係団体による意見交換会議事録)
3. 広報ふじさわ 2020 年 1 月 25 日号
4. 令和元年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集表紙
6. 第 2 回地区集会実施企画 (たたき台)
7. 同 進行表
8. 同 会場図
9. 部会・ワーキング 活動取組・活動の方向性一覧表

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

(1) 各部会からの報告

- ・部会議事録をもとに報告を行った。
- ・オリパラ関連として, 県が江の島島内に 3 箇所喫煙所を設置したい意向。場所については検討中。
- ・弁天橋 (歩行者橋) の手前に設置する予定のオリパラモニュメントは 1 月 25 日に除幕式の予定。東京 2020 大会後は公園やヨットハウス前に移設予定。

(2) 各地域団体等からの報告 (トピック)

- ・社協から, 社協ニュース発行, ヨット音頭講習会, 家族を介護している人のつどい, 児童交流会 (片小) について, 開催等の案内があった。
- ・青少協から, 子育て講演会の開催案内があった。

(3) 令和2年度 まち協委員改選について

- ・公募一期目の委員については、次期の継続について事務局から意向確認を行う。
- ・地域団体の委員については、事務局などを通して、個別に委員選出依頼を行う。

(4) その他

- ・特記事項なし

4. 議題

(1) 令和元年度 第2回地区集会について

- ・実施企画をもとに役割分担の検討を行った。
 - 事業報告者
…役員会では1名の委員が通して行う予定であったが、各部会長から行うこととなった。
部会長が欠席の場合は副部会長が行う。
 - 事業報告以外の総論部分
…総会と併せて澁谷副部会長が行う。欠席の場合は甘粕副会長が行う。
 - コミュニティ施設検討会議の役割分担
…検討会議内で決める。
 - 受付
…村越委員、徳江委員

(2) 令和2年度 現各部会（ワーク含む）の継続等について

- ・年度末を迎えるにあたり、各部会とも次年度以降の計画・方針等について検討するとともに、役員会・全体会で報告を行っていく。
- ・公民館活用部会の今後の方針は2月の全体会で報告すること。

(3) その他

- ・来年度の会議スケジュール（案）については、2月に提示する。

5. その他

第11回役員会	2月6日（木）午後6時30分から	市民センター第2談話室
第11回全体会	2月20日（木）午後6時30分から	市民センター第1談話室
第2回地区集会	2月26日（水）午後6時30分から	市民センターホール

6. 閉会

以上

令和元年度第 11 回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020 年 2 月 20 日（木）

午後 6 時 30 分から午後 8 時 15 分まで
片瀬市民センター 第 1 談話室

《出席者》

- ・委員 14 人（現在数 20 人）
欠席 6 人（川嶋委員，浜野委員，大舘委員，岩田委員，中川委員，高野委員）
- ・市民自治推進課 2 人
- ・事務局 8 人
- ・傍聴 0 人

《当日資料一覧》

1. 回覧チラシ（2/5）
2. 部会報告書（郷土文化推進部会，ボランティアセンター運営委員会，青少年健全育成部会，JJBC）
3. 令和元年度第 2 回地区集会 進行表・座席表
4. 同 アンケート
5. 同 台本
6. 同 スライド
7. 令和元年度まちづくり協議会活動報告集（地区集会版）
8. 今後の各部会の方向性・令和 2 年度会議日程表
9. まちづくり通信第 39 号

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告

- (1) 各部会からの報告
 - ・部会議事録をもとに報告を行った。
- (2) 各地域団体等からの報告（トピック）
 - ・特記事項なし
- (3) その他
 - ・特記事項なし

4. 議題

(1) 令和元年度 第2回地区集会について

- 市民自治推進課から、「片瀬地区新コミュニティ施設」の提言書(案)について説明を行った。
Q 提言書はいつ提出されるか、また、地区集会で挙げられた意見は反映されるか。
A 年度内に提言書は提出する。修正は基本的に行わないが、提言書に対して市が回答を行った後に設計作業に移ることになるが、事前に検討会議と市で要望内容を調整していく。
- 他、地区集会で使用される資料や当日の段取りを行った。
 - …委員は午後5時集合
 - …受付は村越委員と事務局
 - …公民館活用部会の発表者は笹岡委員または高木委員
 - …委員席は1列目をまち協委員、2列目を検討会議委員用とする。
 - …アンケートについて、検討会議からの報告は自由記述のみとする。
 - …検討会議からの報告について、提言書の説明は三觜委員、質疑応答の対応は澁谷宏美委員から。
 - …まち協の事業報告に関連して、地域課題が参加者から挙げられた際はある程度内容に応じて回答できるようにする。
 - …公民館活用部会の事業報告に関しては、抽選会についても触れる。

(2) 令和2年度 現各部会(ワーク含む)の継続等について

- 各部会における現時点の方針を確認した。公民館活用部会は休会とし、青少年健全育成部会の小学生ふれあい事業は終了とする。

(3) まちづくり通信 No.39号について

- 各部会が作成した原稿について委員が確認した。

(4) その他

- 特記事項なし

5. その他

第12回役員会 3月5日(木)午後6時30分から 市民センター第2談話室

第12回全体会 3月19日(木)午後6時30分から 市民センター第1談話室

6. 閉会

以上